

【資料1】

板橋区の現況について

板橋区基本構想審議会資料

令和6年9月

目 次

1 区内の地域

- (1) 位置・面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 地域別の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 人口

- (1) 総人口と年齢別人口の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (2) 地区別人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (3) 転出入人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (4) 外国人住民数の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

3 住宅・住まい

- (1) 住宅・世帯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (2) 地価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- (3) 昼間人口・夜間人口の地域別構成割合・・・・・・・・・・・・・・ 15

4 財政状況

- (1) 実質収支の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- (2) 令和6年度 板橋区の予算（歳出）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (3) 他区との比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

5 23区との比較

- (1) 土地と人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (2) 住居・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (3) 道路・公園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (4) 保健・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (5) 福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (6) 環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- (7) 教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

1 区内の地域

(1) 位置・面積

板橋区は東京 23 区の北西部に位置し、東側は北区、南側は豊島区、西側は練馬区、北側は埼玉県和光市及び一級河川荒川をはさんで埼玉県戸田市と接している。都心部より概ね8～15km、副都心の池袋まで1～10km、新宿まで5～13kmである。

面積は 32.22km² で、23 区中9番目の大きさである。これは東京都総面積の 1.5%、23 区面積の 5.1%にあたる。

【区の位置】



【出所：板橋区の土地利用（2023年12月版）】

【5地域・18地区】



(2) 地域別の特徴

① 5地域の比較（一覧）

	全体	板橋地域	常盤台地域	志村地域	赤塚地域	高島平地域
人口 ※1	572,927人 100.00%	131,922人 23.03%	87,001人 15.19%	126,601人 22.10%	120,770人 21.08%	106,633人 18.61%
世帯数 ※1	327,308世帯 100.00%	80,535世帯 24.61%	51,096世帯 15.61%	69,090世帯 21.11%	66,269世帯 20.25%	60,318世帯 18.43%
一世帯あたりの人口	1.75人/世帯	1.64人/世帯	1.70人/世帯	1.83人/世帯	1.82人/世帯	1.77人/世帯
高齢化率 ※2	22.99%	21.02%	22.15%	24.45%	20.23%	27.50%
後期高齢化率 ※2	12.97%	11.53%	12.53%	13.77%	11.02%	16.36%
公園面積 (公園数) ※3	1.42 km ² (342)	0.11 km ² (59)	0.08 km ² (40)	0.22 km ² (98)	0.16 km ² (81)	0.85 km ² (64)
1人あたりの公園面積	2.62 m ²	0.83 m ²	0.92 m ²	1.74 m ²	1.32 m ²	7.97 m ²
公営住宅戸数 ※4	813戸 100.00%	10戸 1.23%	244戸 30.01%	197戸 24.23%	107戸 13.16%	255戸 31.37%

※1 住民基本台帳（令和6年1月1日）

※2 5地域別・地域センター別 高齢者・後期高齢者（人数・率）（令和6年1月1日）

※3 都市公園等一覧表（令和5年4月1日）の公園、児童遊園、緑地から算出

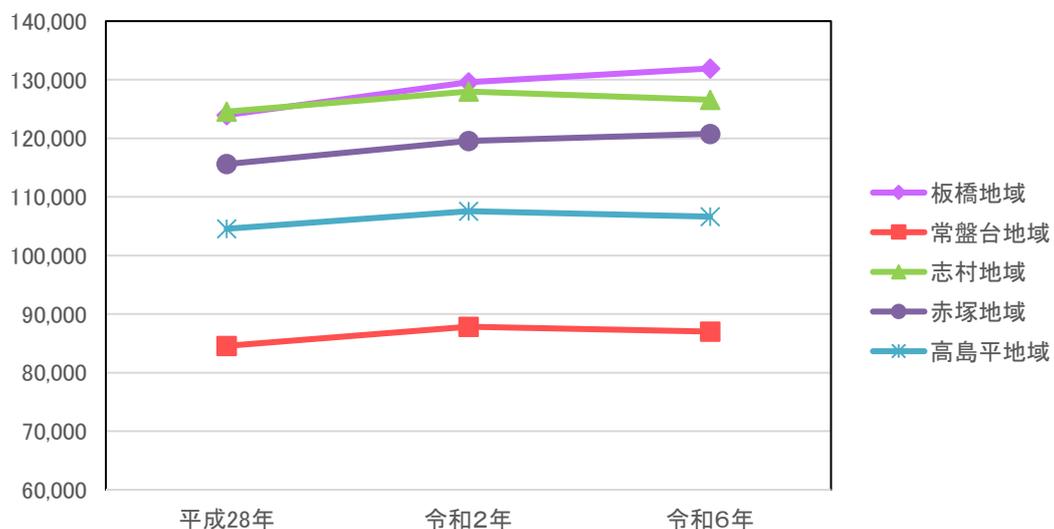
※4 区営住宅・けやき苑（高齢者住宅）・改良住宅

【政策企画課作成】

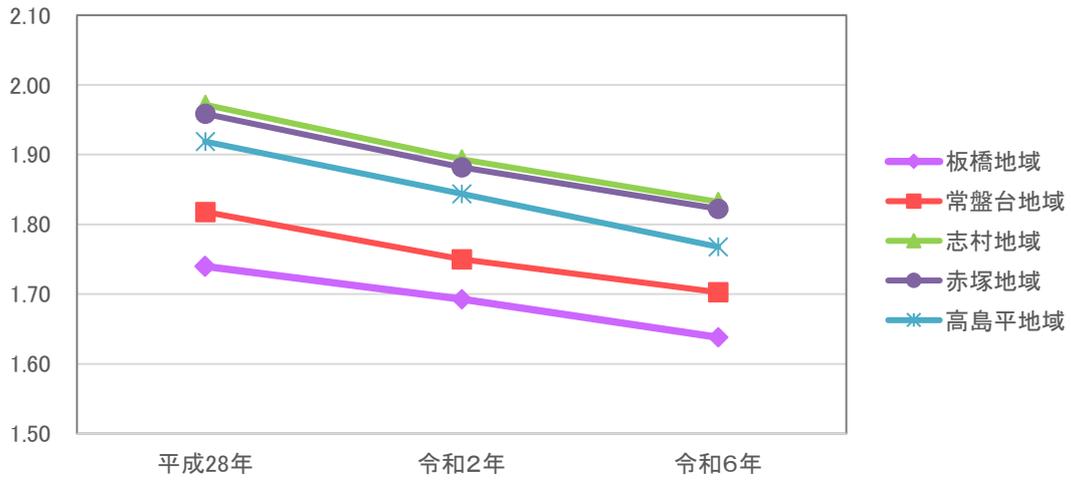
② 5地域の比較（推移）

住民基本台帳 及び 5地域別・地域センター別 高齢者・後期高齢者（人数・率）を参照
（各年4月1日）

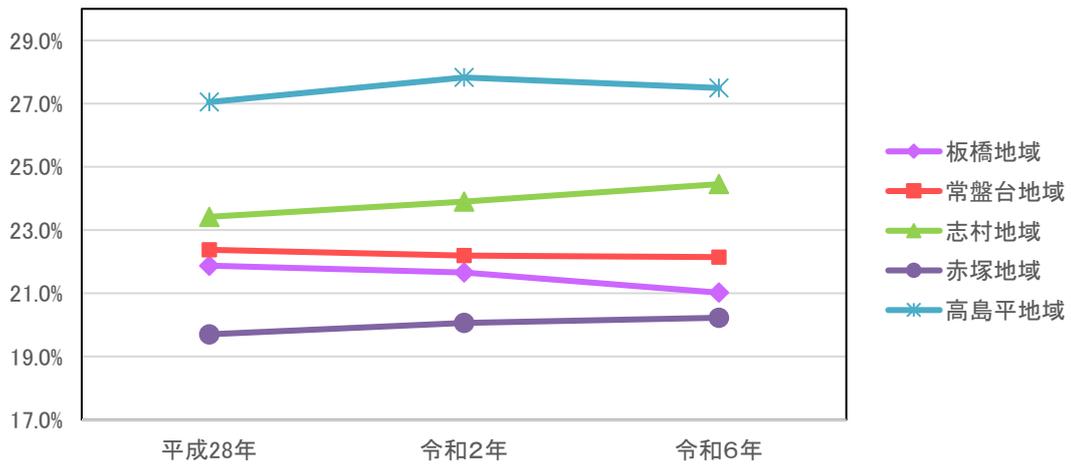
人口の推移



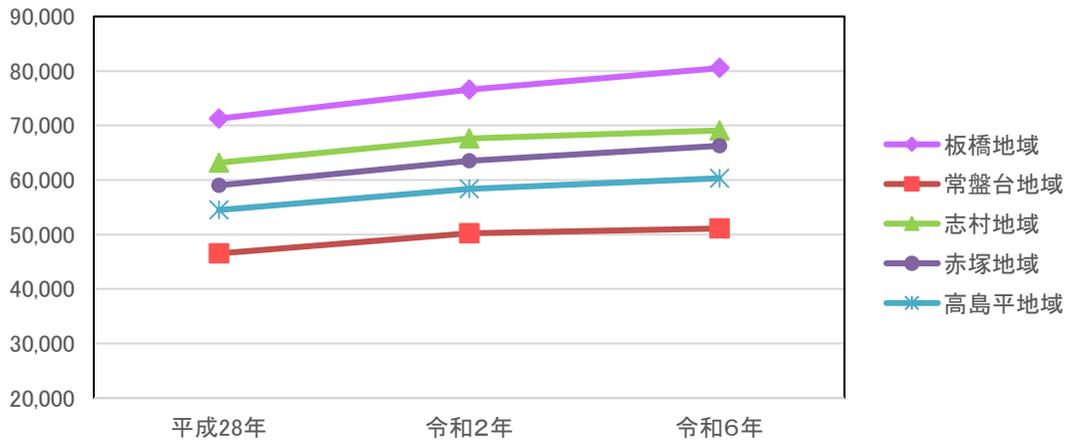
1世帯当たりの人口



高齢化率の推移



世帯数の推移



【政策企画課作成】

③ 地域の特性

① 板橋地域



板橋地区	熊野地区
仲宿地区	仲町地区
富士見地区	

特 性

《居住者像》

○世帯数・人口ともに、5地域で最も多い。若年層の単身世帯が多く、ファミリー世帯は少ない。生産年齢人口(15～64歳)が多く都市型に近い人口構成

《まちの成り立ちと特徴》

○江戸時代から旧中山道の板橋宿や加賀金沢藩下屋敷として繁栄
○区立施設、警察署、消防署など国・都の機関、多くの医療・福祉施設など、公共サービス機能が集積
○区の中心地的な商業地として大山・板橋・仲宿・中板橋などの商店街が発展
○JR埼京線の板橋駅があり、南の玄関口
○公園などのまとまった緑地が比較的少なく、地域全体で過密化(木密地域：板橋三丁目、仲宿)

《景観・観光・名所・都立公園》

○石神井川に沿って整備された桜並木の緑道は区の名所
○板橋、縁切り榎、近藤勇の墓、加賀藩前田家下屋敷跡

《国・都・大学等》

○帝京大学医学部、東京家政大学、板橋キャンパス跡地(東京都健康長寿医療センター等)

《交通基盤》

○JR埼京線、都営三田線、東武東上線の3線が徒歩圏内で近接
○首都高速道路、環状7号線、中山道、川越街道などの幹線道路を有する交通の結節点

重点施策・主要事業等

- 子育て施設の総合的な推進(弥生児童館ZEB-Ready認証取得)
- 子育てセーフティネットの充実(子ども家庭総合支援センター)
学校跡地を活用し、子ども家庭支援センターと児童相談所機能を併せ持つ「子ども家庭総合支援センター(ISCF)」を開設
- スポーツに親しむまちづくりの推進(植村記念加賀スポーツセンターの開設)
旧東板橋体育館の改修に併せ、植村冒険館を移転・複合化させて新たな名称でリニューアルオープン
- 地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進(近代化遺産としての史跡公園整備)
国の史跡に指定された板橋火薬製造所が持つ歴史的価値を活かし、都内初となる近代化・産業遺産を保存・活用した史跡公園を整備
- 緑化の推進と自然にふれあう機会の創出(板橋こども動物園の改築)
環境負荷軽減のため草屋根や壁面緑化を施したほか、キッズルームなどの施設機能を拡充させるなど、SDGsを体現する施設としてリニューアル(キッズデザイン賞)
- 駅周辺や商店街等を中心とした良好な市街地の形成促進
大山駅付近における東武東上線立体化、ピッコロスクエア、クロスポイント、板橋駅板橋口地区・西口駅前広場再整備ほか
- 緑化の推進と自然にふれあう機会の創出(板橋公園の再整備)
防災機能の充実を図るとともに、にぎわいあふれる公園として再整備
- 美しいまちなみ景観の推進(景観形成重点地区指定(板橋宿不動通り地区))
地域の個性を活かした良好なまちなみ景観づくり
- 多様で良質な住まい・住環境の確保
区営住宅の整備(仲宿住宅)

② 常盤台地域



大谷口地区

常盤台地区

桜川地区

特 性

《居住者像》

○世帯数、人口ともに5地域で最も少ないが、板橋地域と似た傾向を持つ都市型に近い人口構成

《まちの成り立ちと特徴》

○川越街道や東武東上線の駅を中心に住宅地として開発

○東武東上線ときわ台駅北側は、昭和10年に東武鉄道が開発した住宅地。街の中をぐるりと回るプロムナード（散歩道）やクルドサック（袋小路）を設けるなど、独特で先進的なまちなみを形成

○近年は川越街道沿いを中心に集合住宅が多く建設

○大谷口に木造住宅密集地域あり

《景観・観光・名所・都立公園》

○平和公園、石神井川など自然資源に恵まれた緑とうるおいのある地域

○都立城北中央公園

《国・都・大学等》

○日本大学医学部、心身障害児総合医療療育センター

《交通基盤》

○東西方向には東武東上線、東京メトロ有楽町線、東京メトロ副都心線

○道路交通網は、東西方向に川越街道、南北方向に環状7号線

重点施策・主要事業等

○読書活動の支援（中央図書館の改築及び「絵本のまち板橋」の充実）

中央図書館を平和公園内へ移転し、いたばしポローニャ絵本館を併設して、リニューアルオープン（グッドデザイン賞、日本図書館協会建築賞）

○障がい者施設の総合的な推進と計画的な施設整備（発達障がい者支援センターの開設）

概ね16歳以上の発達障がいのある方を総合的に支援する拠点

○魅力ある学校づくり

板橋十小、上板橋二中の改築（「新しい教育環境」部門賞）

○大谷ロー丁目周辺地区不燃化まちづくりの推進

「不燃化特区制度」を活用し、主要生活道路の拡幅整備及び老朽建築物の建替を促進することで、大谷ロー丁目周辺地区の木造住宅密集地域の改善を一段と加速

○無電柱化の促進（大谷口上町区間）

○駅周辺や商店街等を中心とした良好な市街地の形成促進

上板橋駅南口駅前地区まちづくり事業の推進

○多様で良質な住まい・住環境の確保

区営住宅の整備（小茂根一丁目住宅・南常盤台住宅）

③ 志村地域



清水地区

志村坂上地区

中台地区

前野地区

特 性

《居住者像》

○ファミリー世帯、2人世帯が多い。近年、高齢化が進んでいる。

《まちの成り立ちと特徴》

- 戦前から区の工業の中心地として印刷・機械工業などの産業が立地し、近年は住・商・工が混在する市街地を形成
- 工場の郊外への移転が進み、工場跡地などに大規模集合住宅が相次いで建設。今後、若い世代が比較的多くなる見込み
- 前野地区には環境行政の発信基地である「エコポリスセンター」や地域包括ケアの推進拠点である「おとしより保健福祉センター」など特色ある区施設を配置
- 中台地区は、すりばち状の谷地形が形成されていて、台地と低地が複雑に入り組んでいる
- 中台地区の北辺に大規模集合住宅「サンシティ」がある。武蔵野の緑と起伏に富んだ丘陵地形をできる限り生かし、『わが街は緑の丘陵』をテーマに、昭和52年から55年にかけて、三井不動産と旭化成グループにより開発分譲された（約12万5千㎡、総戸数約1,800戸、人口約6,000人）

《景観・観光・名所・都立公園》

○志村一里塚をはじめ、江戸時代から志村三泉として名高い、薬師・出井・見次の泉がある

《国・都・大学等》

○淑徳大学、東洋大学総合スポーツセンター

《交通基盤》

- 南北方向に都営三田線、中山道、首都高速道路、東西方向には環状8号線が地域の骨格を形成
- 一部の斜面地に狭隘道路や行き止まり道路などが多く残り、身近な生活道路網は整備が必要

重点施策・主要事業等

○魅力ある学校づくり

志村小・志村四中（小中一貫型学校）改築、志村六小長寿命化改修

○スポーツに親しむまちづくりの推進（あずさわスポーツフィールドの整備）

小豆沢公園内に「あずさわスポーツフィールド」を整備し、緑の中でスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる環境の充実を図る

○倒れない・燃え広がらないまちづくりの推進

木造住宅密集地域の整備促進（清水町、蓮沼町周辺地区）

○多様で良質な住まい・住環境の確保

区営住宅の整備（志村坂下住宅）

④ 赤塚地域



下赤塚地区

成増地区

徳丸地区

特 性

《居住者像》

○年少人口と生産年齢人口が多く、高齢化率は低い

《まちの成り立ちと特徴》

○武蔵野台地の北東部に位置し、戦前から近郊農業が営まれ、自然林や農地などの豊かな緑が残る地域
○東武東上線沿線は駅を基点として市街地、その背後に住宅地が広がる

《景観・観光・名所・都立公園》

○赤塚城址及び周辺の寺社、美術館・郷土資料館など文化施設が集積し、自然・歴史・文化資源に恵まれ、「自然と歴史と文化の里・赤塚」として区民に親しまれている
○都立赤塚公園

《交通基盤》

○東武東上線、東京メトロ有楽町線、東京メトロ副都心線、東西に走る川越街道、南北に縦断する新大宮バイパスが地域の骨格を形成
○幹線道路へのアクセス道路や、沿道の周辺環境などの未整備が指摘される地区が残っている

重点施策・主要事業等

- 個性ある文化芸術の創造と活動の支援（区立美術館の大規模改修）
継承と刷新を極めた美術館へリニューアル（BELCA 賞 ベストリフォーム部門）
- 魅力ある学校づくり
紅梅小長寿命化改修
- 地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進（旧粕谷家住宅復元整備）
- 都市農業の支援と農の活用（農のサポーター制度）
農業の継承支援と農にふれる環境の充実
- 緑化の推進と自然にふれあう機会の創出（赤塚植物園の再整備）
施設の耐震の改善、植物園機能向上等を目的とした管理棟の改築、園路舗装の改修
- 美しいまちなみ景観の推進（景観形成重点地区検討（赤塚四・五丁目地区））
地域の個性を活かした良好なまちなみ景観づくり

⑤ 高島平地域



蓮根地区

舟渡地区

高島平地区

特性

《居住者像》

○5地域の中で高齢化率が最も高い

《まちの成り立ちと特徴》

- かつては「徳丸たんぼ」と呼ばれた低地に広がる水田地帯
- 昭和40年代以降、UR都市機構高島平団地を中心に宅地開発が進行
- 荒川・新河岸川沿いや中山道沿道に工業集積地
- 板橋清掃工場では、発生した熱エネルギーを熱帯環境植物館などの周辺公共施設への熱供給や、発電などに利用

《景観・観光・名所・都立公園》

- 荒川河川敷が計画的に整備され、春の「板橋Cityマラソン」、夏の「いたばし花火大会」など、スポーツ・レクリエーションの拠点としてイベント等に活用
- 都立浮間公園

《国・都・大学等》

- 大東文化大学
- 東京都中央卸売市場板橋市場
- 新河岸水再生センター、浮間水再生センター

《交通基盤》

○都営三田線・JR埼京線・中山道・首都高速道路などにより、都心部への交通利便性が高い地域

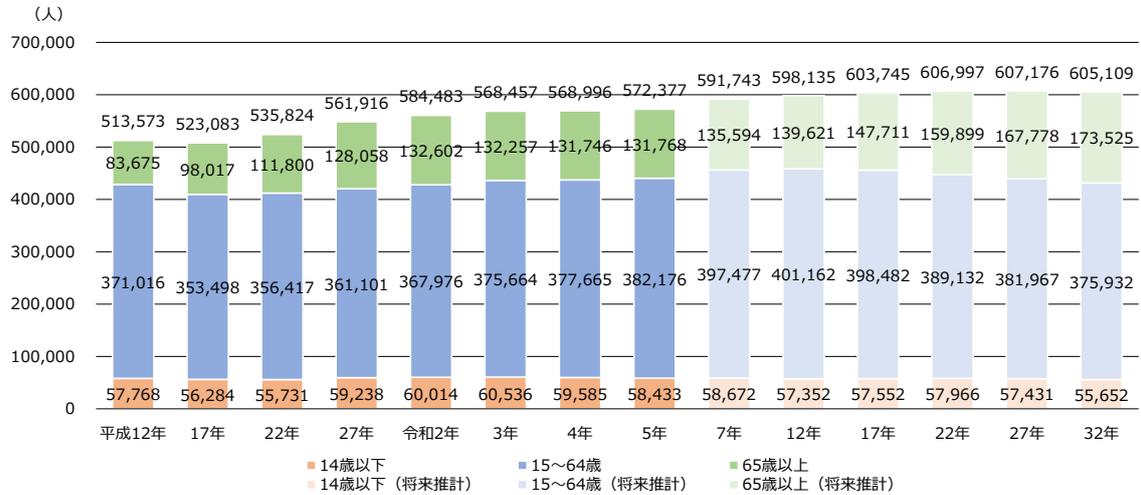
重点施策・主要事業等

- 魅力ある学校づくり
舟渡小長寿命化改修
- 自然環境と生物多様性の保全
熱帯環境植物館の改修
- 緑化の推進と自然にふれあう機会の創出
高島平緑地の安全性の向上と環境整備（伐採・植栽・樹木調査）
- 地域特性を活かした総合的なまちづくりの推進（かわまちづくりの推進）
荒川河川敷の「にぎわい創出」につながる水辺空間の形成に向けたかわまちづくりの推進と併せ、防災の視点を加え、舟渡・新河岸地区の水害対策を目的に新河岸陸上競技場と荒川堤防天端をつなぐ連絡通路を整備
- 高島平地域のまちづくり事業の推進
高島平地域都市再生実施計画の策定、高島平地域交流核形成まちづくりプランの策定

【政策企画課作成】

2 人口

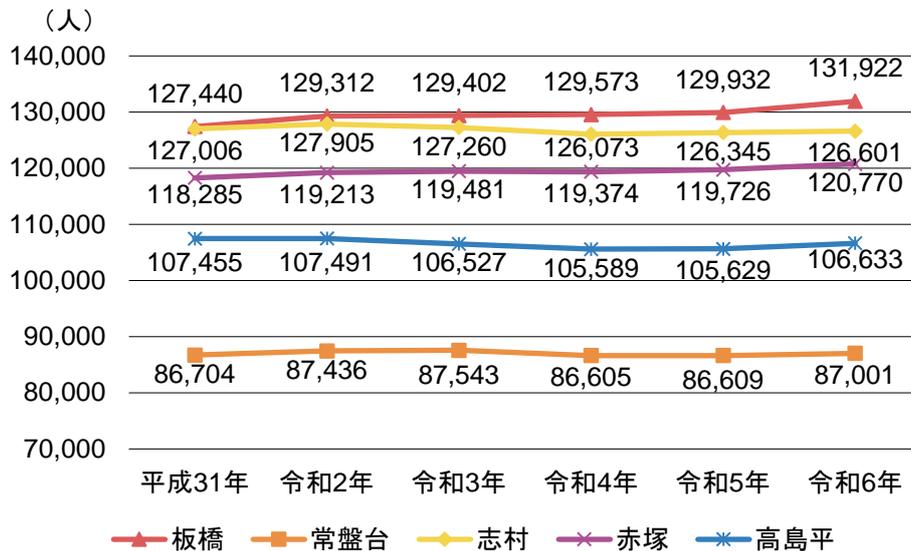
(1) 総人口と年齢別人口の推移 人口はしばらく増加が続く見込み



注) 各年 10月1日の数値

【出所：総務省「国勢調査報告」(平成12~令和2年)、「住民基本台帳」(令和3~5年度)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」(令和7~32年)より作成】

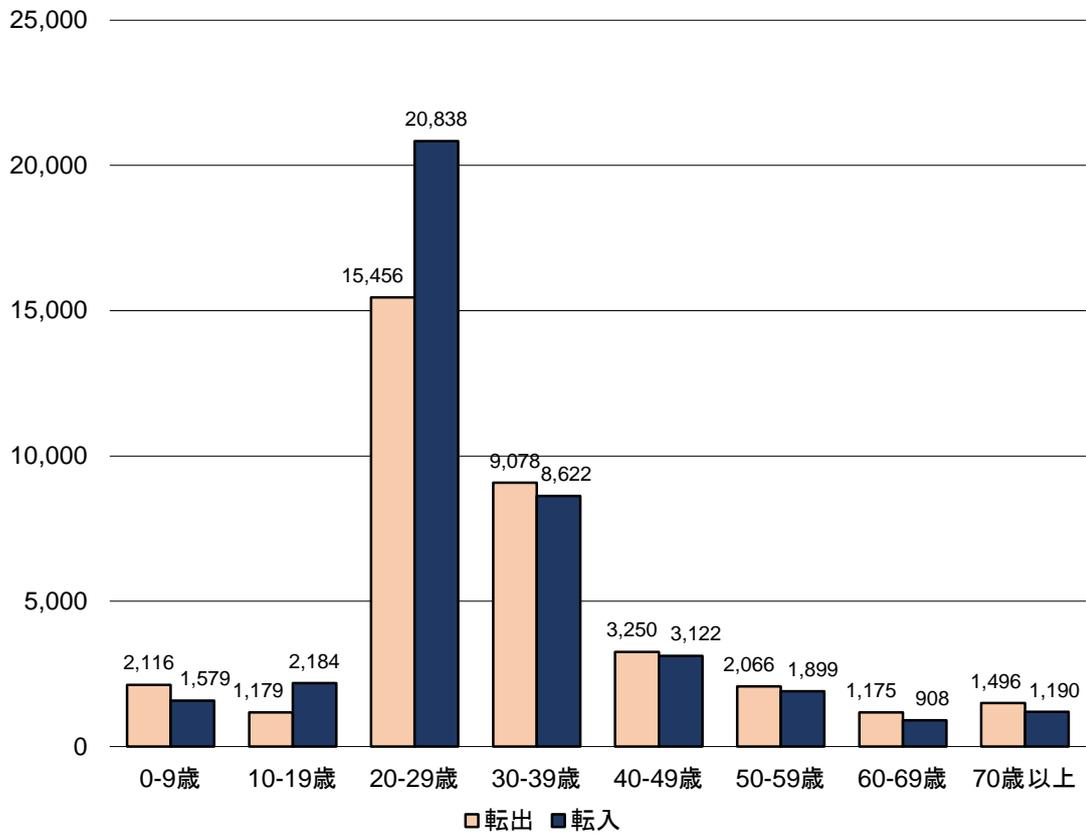
(2) 地区別人口 板橋地域の人口が特に増えてきている



各年 1月1日の数値

【出所：住民基本台帳】

(3) 転出入人口 **20代の転出入が多い（特に転入）**



注) 住民基本台帳による、令和5年1月～12月における転出・転入者を対象とした。

【出所：住民基本台帳】

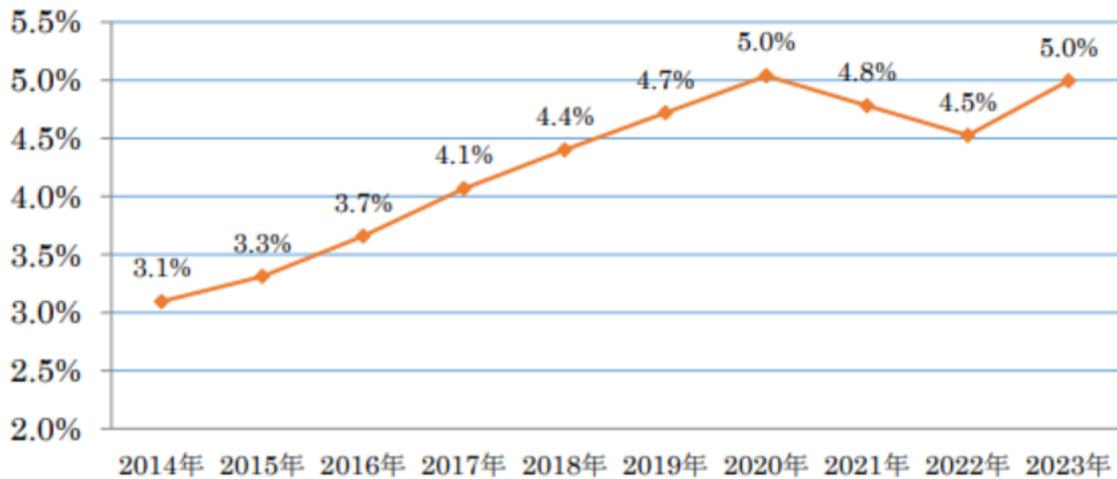
(4) 外国人住民数の状況 **10年間で大きく増加しているのは、ベトナム・ネパール**

板橋区内 外国籍住民数の状況（10年間の国籍別登録者の推移。各年1月1日現在）
2023年1月1日現在の上位10ヶ国を記載

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	総数
	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	ネパール	フィリピン	台湾	ミャンマー	米国	タイ	フランス		
2014年	8,875	3,112	436	349	1,255	480	181	249	251	143	1,383	16,714
2015年	9,483	3,086	635	469	1,307	632	191	271	250	162	1,536	18,022
2016年	10,625	3,122	1,037	640	1,333	760	240	295	259	170	1,666	20,147
2017年	12,157	3,220	1,238	826	1,386	859	281	309	277	176	1,938	22,667
2018年	13,253	3,402	1,421	1,024	1,442	883	329	289	294	211	2,171	24,719
2019年	14,177	3,545	1,657	1,148	1,545	975	335	345	316	247	2,469	26,759
2020年	15,367	3,724	1,754	1,259	1,618	1,114	381	390	324	261	2,590	28,782
2021年	14,436	3,448	1,731	1,261	1,563	969	399	372	344	265	2,466	27,254
2022年	13,188	3,289	1,658	1,334	1,502	919	475	358	326	272	2,342	25,663
2023年	14,382	3,364	1,783	1,688	1,503	987	703	382	350	329	2,901	28,372

(単位：人)

板橋区内 外国籍住民の割合の推移(各年1月1日現在)



【出所：板橋区国際化の現況（令和5年度版）】

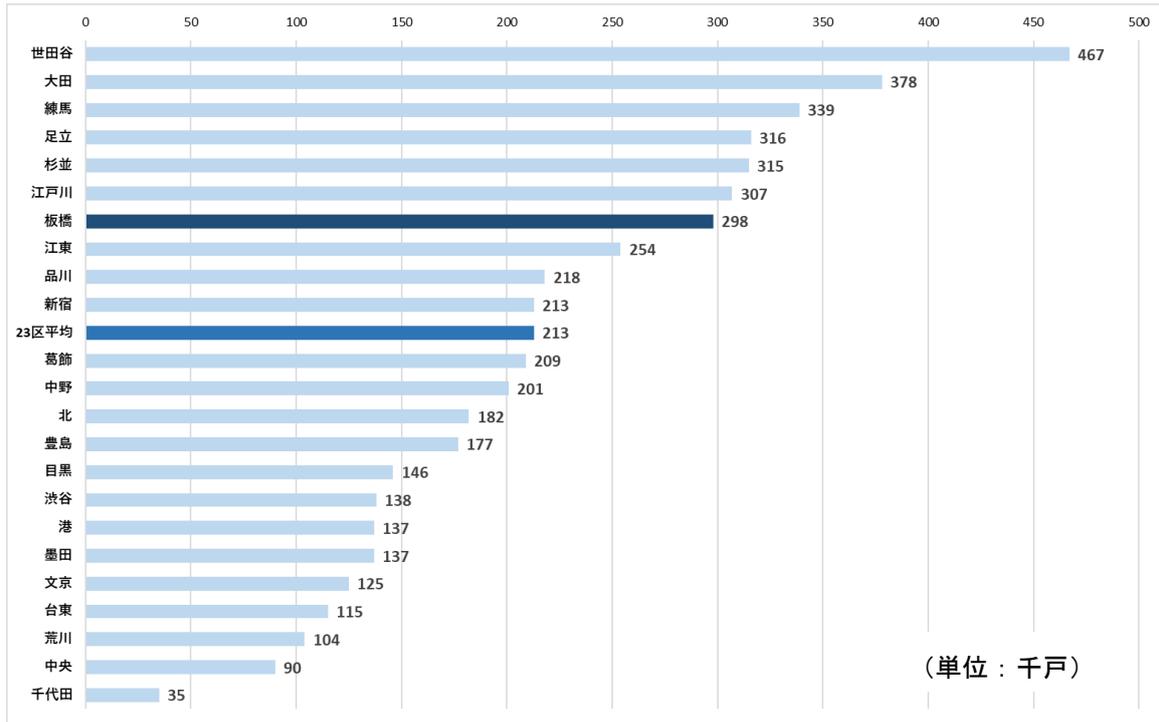
3 住宅・住まい

(1) 住宅・世帯

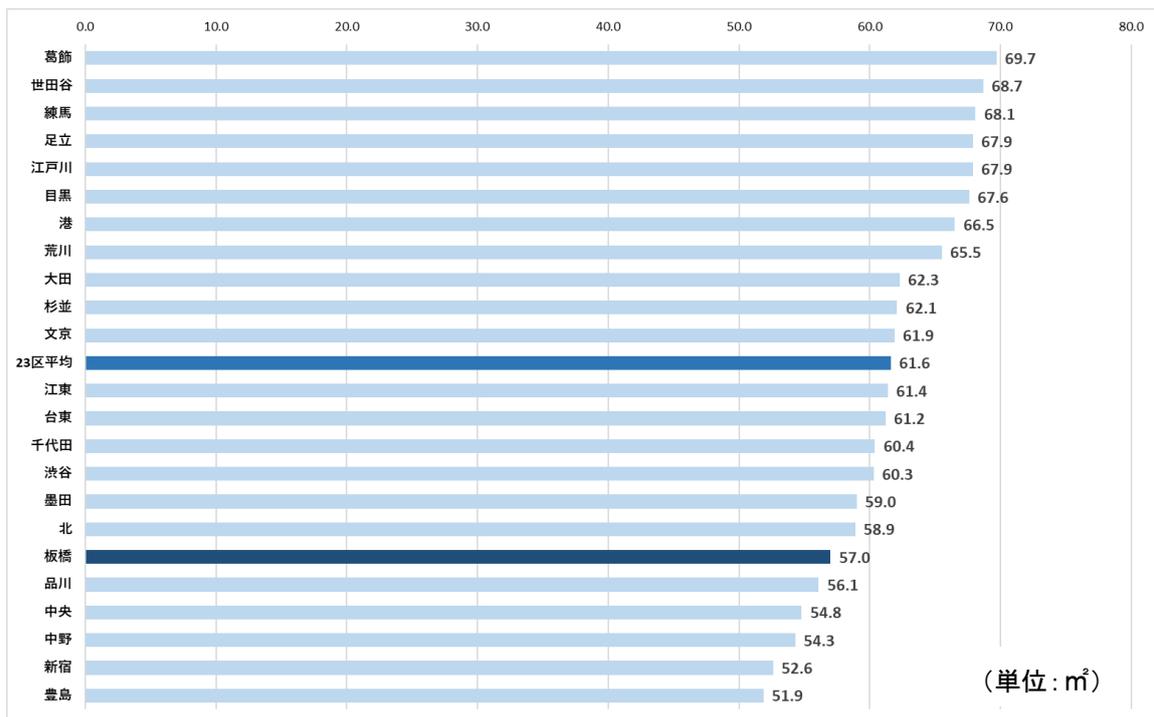
特別区内で住宅数は7番目に多いが、1住宅あたりの面積は18番目となっている。

板橋区は単身者用住宅が多く、③区内の世帯数の推移からもわかるとおり、単身世帯も増加傾向となっている。

① 住宅数（平成30年） **板橋区は7位** 【出所：住宅・土地統計調査】

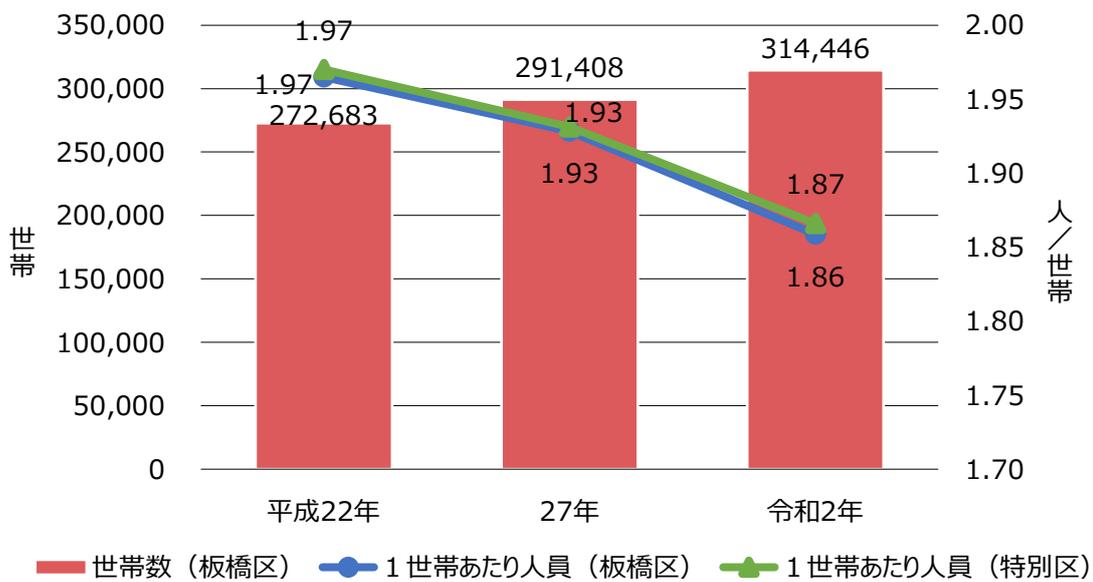


② 1住宅あたりの面積（平成30年） **板橋区は18位** 【出所：住宅・土地統計調査】



③世帯数の推移

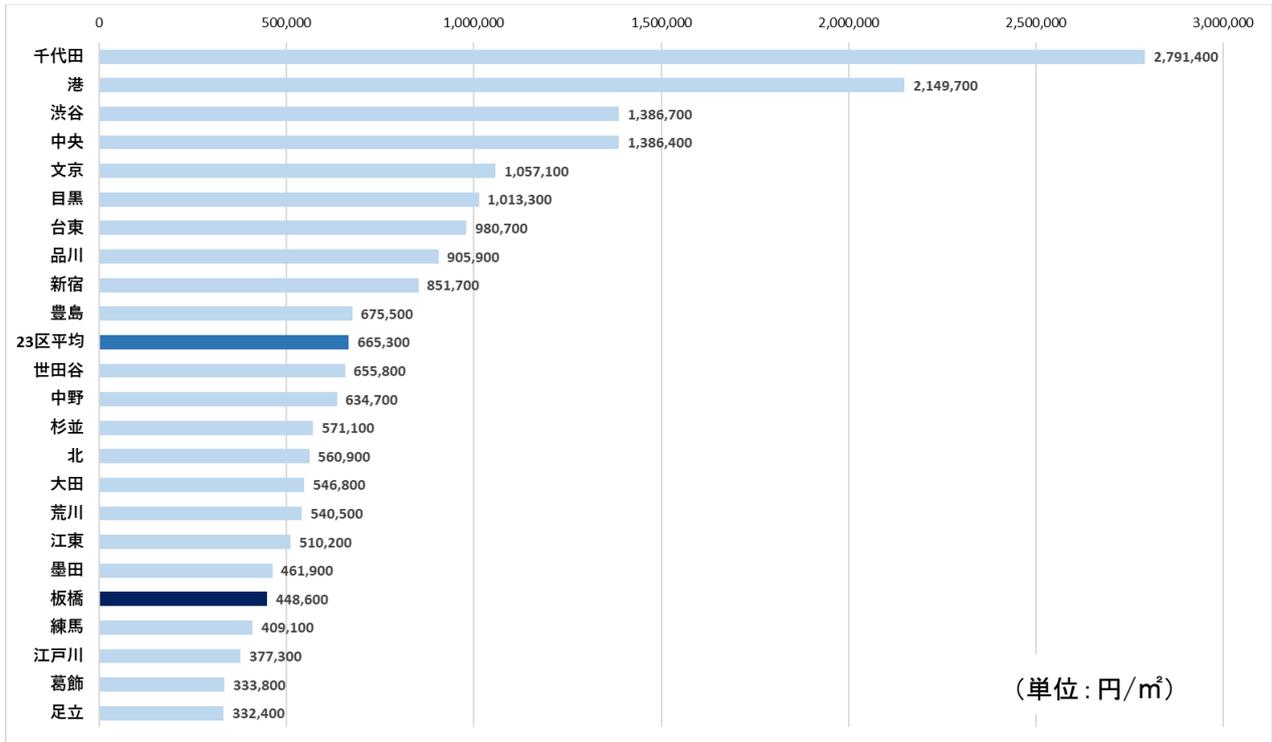
世帯数が増加し、1世帯あたり人員が減少している ⇨ 単身世帯が増加している



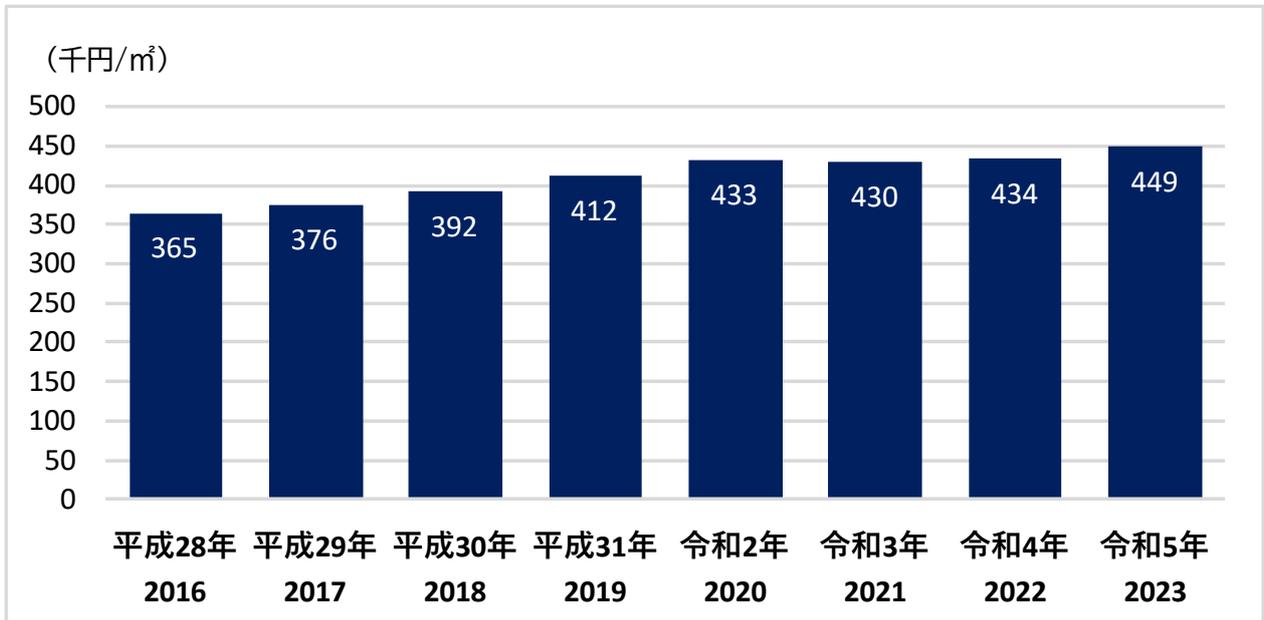
【出所：総務省「国勢調査報告」】

(2) 地価

①23区の地価比較 (2023年) **板橋区の地価は19位**



②板橋区の住宅地平均地価の推移 **年々上昇傾向にある**



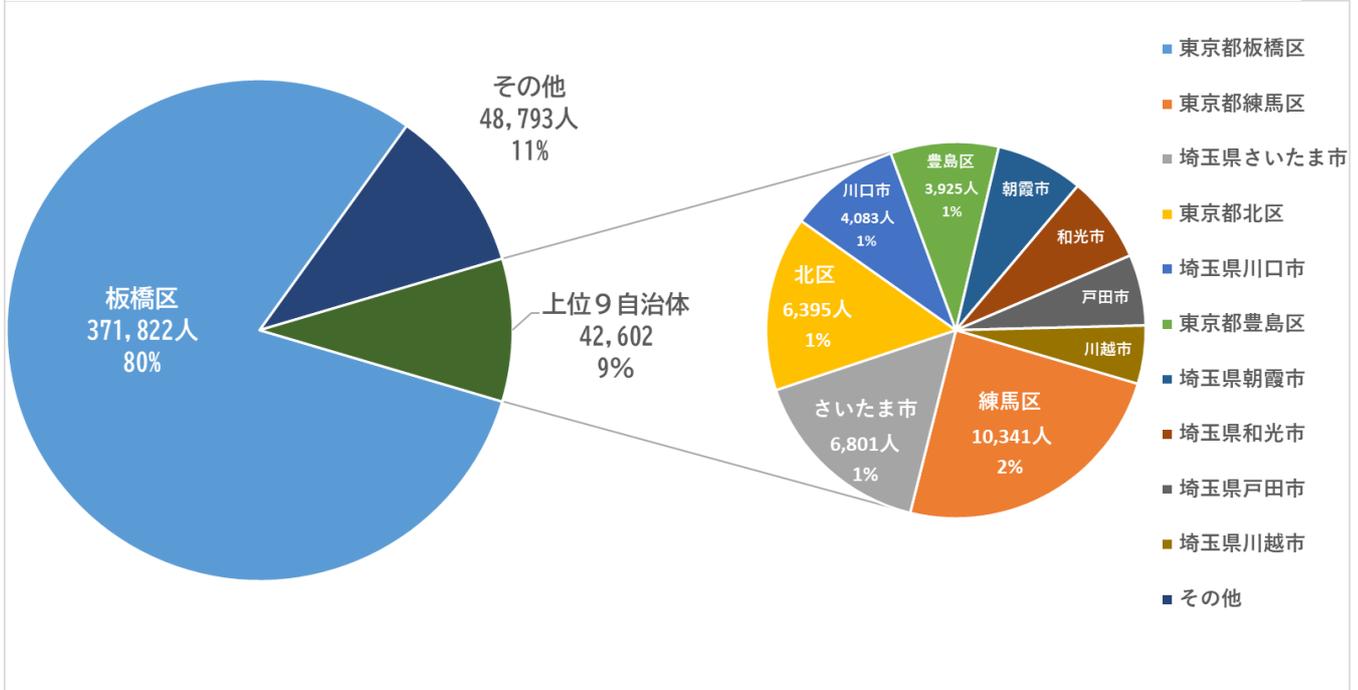
【出所：東京都の統計（東京都統計年鑑）】

(3) 昼間人口・夜間人口の地域別構成割合 (2020年)

板橋区は夜間人口の方が6万人ほど多い。昼夜間人口比率は88.32%となり、流出が超過している。

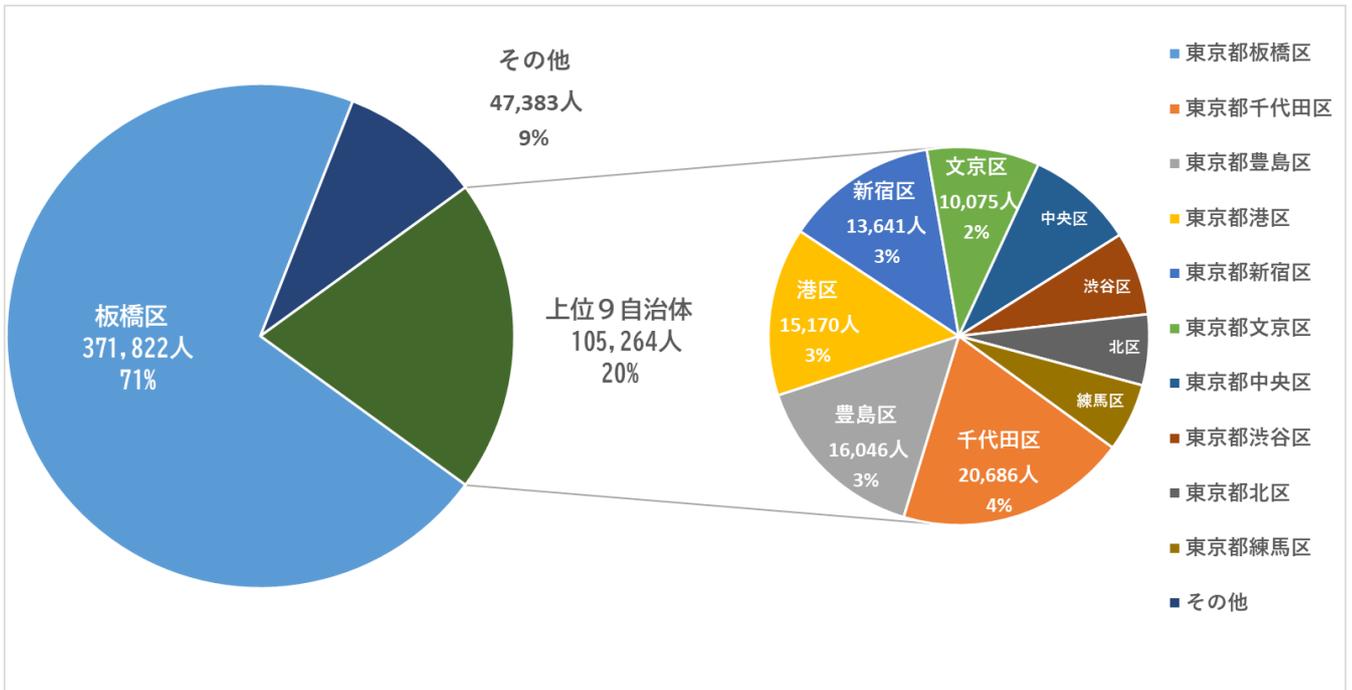
【昼間人口※】 463,217人 (区内に日中滞在する人の居住地)

上位自治体を見ると、埼玉県及び近隣区の人が多い。



【夜間人口※】 524,469人 (区内に居住する人の日中の滞在地)

上位自治体を見ると、都営三田線や埼京線、東武東上線で行きやすい自治体が多い。



【出所：RESAS 地域経済分析システム (通勤通学人口 地域間流動)】

※人口は、それぞれ15歳以上を対象とし、就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地から算出した値

4 財政状況

(1) 実質収支の推移

(単位：百万円)

	年度						
	平成 28	平成 29	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4
A 歳入総額	206,960	214,620	215,772	227,055	296,565	262,237	264,000
B 歳出総額	202,630	209,042	211,165	221,357	286,979	249,505	252,931
C 形式収支 ^{※1} (A-B)	4,330	5,578	4,607	5,698	9,586	12,732	11,069
D 翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	140	664	196	916
E 実質収支 ^{※2} (C-D)	4,330	5,578	4,607	5,558	8,922	12,536	10,153
F 単年度収支 ^{※3} (E-前年度E)	247	1,248	△971	950	3,365	3,614	△2,383
G 財政調整基金積立金	14	3,623	5,928	1,669	12,528	6,828	4,262
H 財政調整基金 取り崩し額	0	2,191	0	4,641	9,079	6,958	3,504
I 実質単年度収支 ^{※4} (F+G-H)	262	2,681	4,957	△2,022	6,814	3,484	△1,625

※1 形式収支：歳入決算額から歳出決算額を単純に差し引いた額

※2 実質収支：形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額

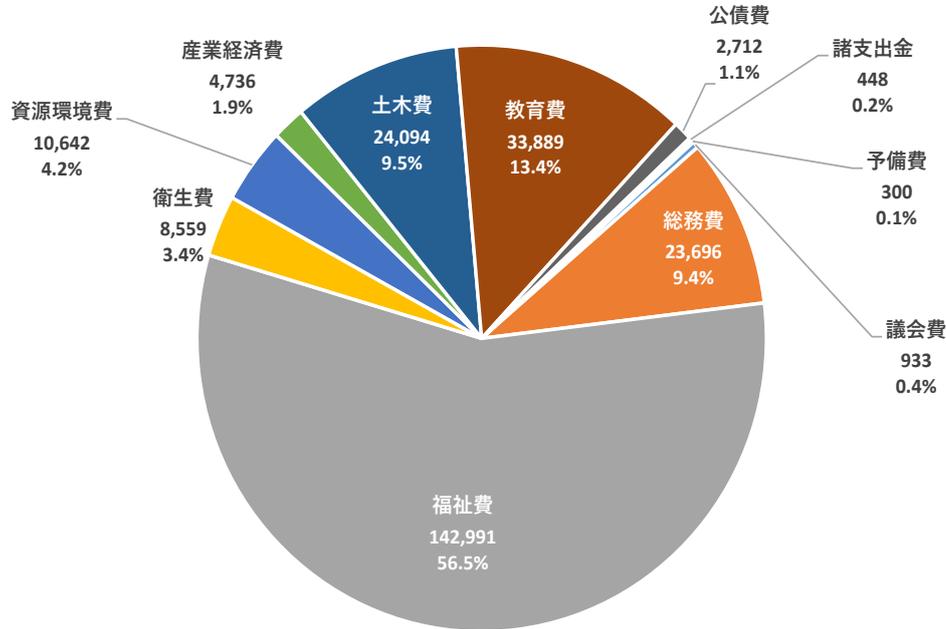
※3 単年度収支：当該年度のみ収支結果をみるためのもので当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

※4 実質単年度収支：黒字要因（基金積立等）や赤字要因（基金取崩し）を単年度収支から除外した額

【出所：令和6年度板橋区の予算（区財政の現状）】

(2) 令和6年度 板橋区の予算（歳出）

一般会計歳出（目的別）予算額・構成比（単位：百万円、％）



(令和6年度)歳出(目的別)予算の特徴

- 福祉費は、施設介護給付をはじめとした自立支援給付経費の増などにより、前年度と比べ 60 億 5,500 万円、4.4%の増となった。
- 衛生費は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことなどにより、前年度と比べ 31 億 9,200 万円、27.2%の減となった。
- 土木費は、区営住宅の改築や都市計画道路(補助 249 号線)整備の事業進捗などにより、前年度と比べ、25 億 6,400 万円、11.9%の増となった。
- 教育費は、学校給食費無償化や小中学校の改築・改修工事などにより、前年度と比べ 41 億 2,900 万円、13.9%の増となった。

【財政課作成】

【参考】区民が支払った1万円の使われ方

福 祉 費	4,743 円	子どもたち、障がいのある方、所得が少ない方などのために	
教 育 費	1,717 円	学校・幼稚園などの教育関係に	
総 務 費	1,307 円	まちの行事、防災、集会施設、区役所の管理などに	
土 木 費	741 円	道路・公園、緑化の推進、都市の整備などに	
資源環境費	586 円	ごみの収集・運搬、リサイクルの推進などに	
衛 生 費	361 円	予防接種、健康診査、健康福祉センターの運営などに	
産業経済費	279 円	中小企業の振興や農業振興などのために	
公 債 費	168 円	特別区債（借入金）の返済に	
議 会 費	60 円	区議会の運営に	
諸支出金 ・ 予備費	38 円	基金の積立や、災害など緊急時の予備などに	

※区の財源には、あらかじめ使いみちの決められていない「一般財源」と使いみちの決められている「特定財源」がある。この金額は「一般財源」を割り返したものの。

【財政課作成】

(3) 他区との比較

① 23区同規模自治体との比較

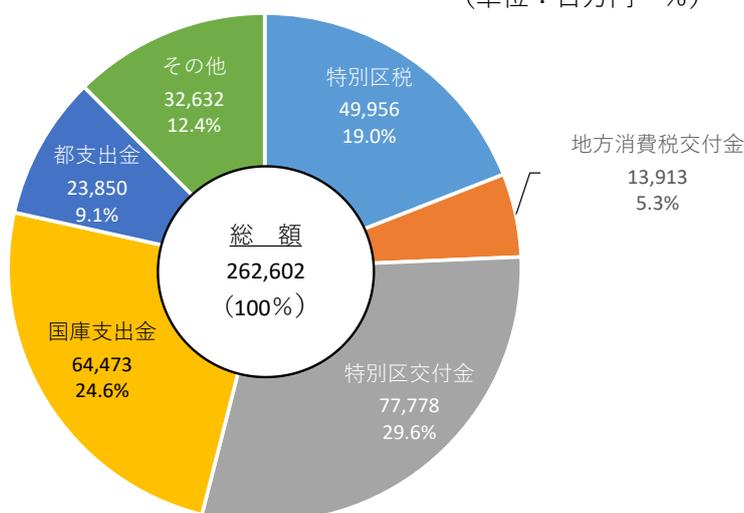
人口 (R6.1.1 現在)	板橋区	572,927 人	面積 (R6.1.1 現在)	板橋区	32.22km ²
	杉並区	572,843 人		杉並区	34.06km ²

人口：住民基本台帳
面積：全国都道府県市区町村別面積調

【歳入】23区同規模自治体との普通会計の比較

板橋区の令和4年度普通会計歳入決算額・構成比

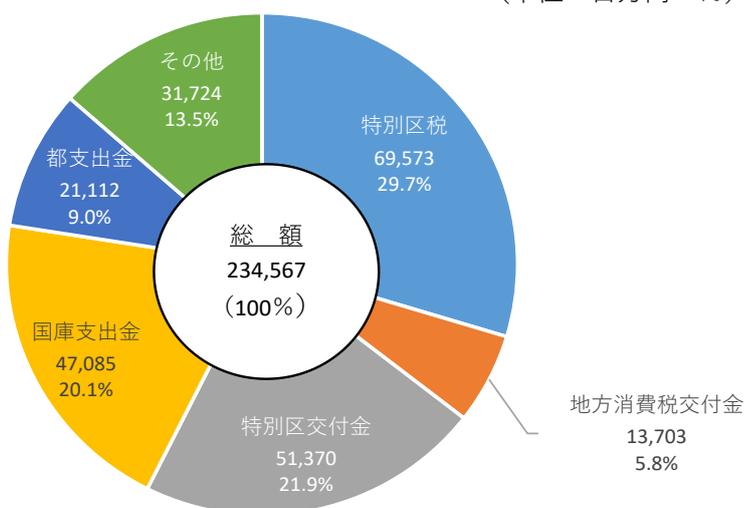
(単位：百万円・%)



(令和4年度特別区決算状況(東京都総務局令和5年12月))

杉並区の令和4年度普通会計歳入決算額・構成比

(単位：百万円・%)

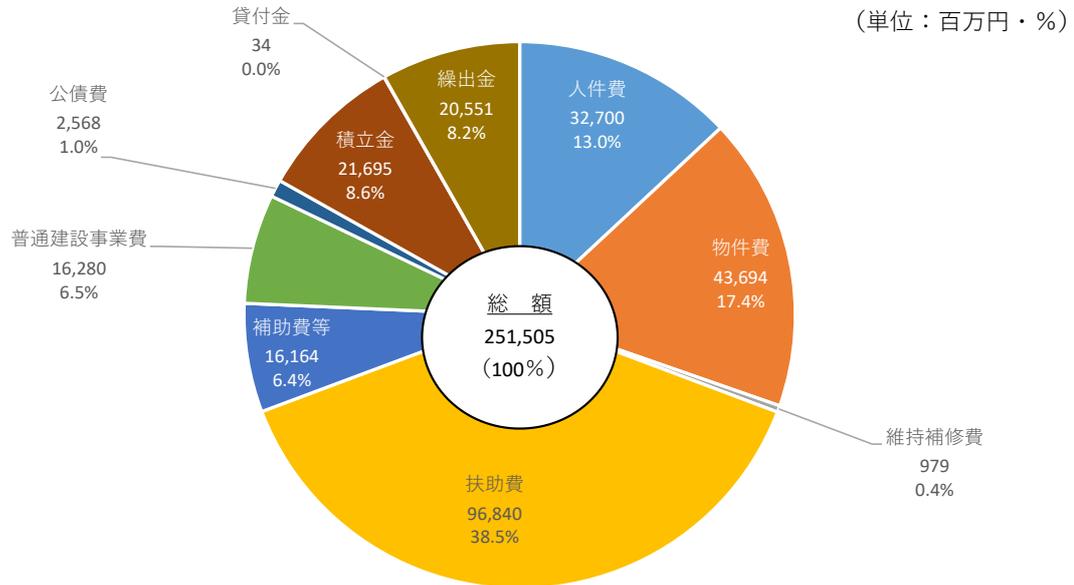


(令和4年度特別区決算状況(東京都総務局令和5年12月))

【財政課作成】

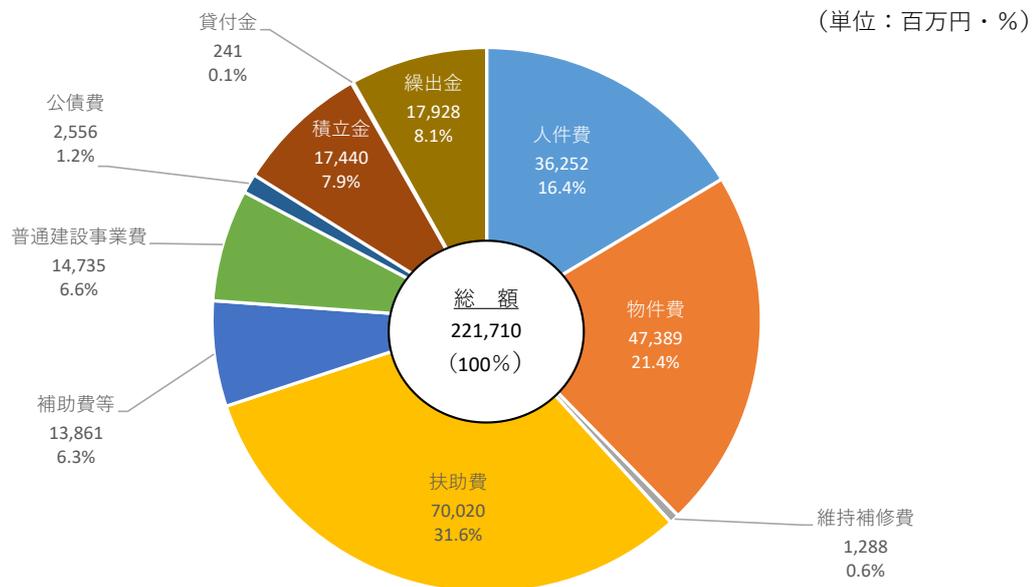
【歳出】 23 区同規模自治体との普通会計の比較

板橋区の令和 4 年度普通会計歳出決算額・構成比



(令和 4 年度 特別区決算状況 (東京都総務局令和 5 年12月))

杉並区の令和 4 年度普通会計歳出決算額・構成比



(令和 4 年度 特別区決算状況 (東京都総務局令和 5 年12月))

【財政課作成】

5 23区との比較

(1) 土地と人口

①面積

最大	大田区	61.86km ²
9位	板橋区	32.22km ²
最小	台東区	10.11km ²

資料) 特別区の統計 令和4年版

②人口

最大	世田谷区	916,208人
7位	板橋区	567,214人
最小	千代田区	67,049人

資料) 特別区の統計 令和4年版

③高齢化率

最大	足立区	24.5% (169,573人)
4位	板橋区	23.1% (131,702人)
最小	中央区	14.6% (25,519人)

注) 令和5年版 65歳以上の高齢者の割合

資料) 特別区の統計

④就業者数

最大	足立区	24.5% (169,573人)
4位	板橋区	23.1% (131,702人)
最小	中央区	14.6% (25,519人)

資料) 総務省統計局「令和2年国勢調査結果」

⑤合計特殊出生率

最大	中央区	1.31
最小	板橋区	0.92

注) 人口千対

資料) 東京都福祉保健局

「令和4年区市町村別合計特殊出生率の順位」

⑥外国人数

最大	新宿区	40,279人
6位	板橋区	28,372人
最小	千代田区	3,353人

資料) 東京都総務局統計部

「住民基本台帳による世帯と人口」

令和5年4月1日

【出所：データ版“区”資料編（令和5年度版区勢概要）】

(2) 住居

①住居総数

最大	世田谷区	521,110戸
7位	板橋区	336,280戸
最小	千代田区	41,700戸

資料) 総務省統計局「平成30年 住宅・土地統計調査報告」

②1住宅あたりの延べ面積

最大	葛飾区	69.71m ²
18位	板橋区	56.97m ²
最小	豊島区	51.85m ²

③着工住宅数

最大	世田谷区	8,044戸
5位	板橋区	6,163戸
最小	千代田区	700戸

資料) 東京都都市整備局市街地建築部

「建築統計年報 2022 版」

④公共賃貸住宅数

最大	足立区	44,765戸
4位	板橋区	27,039戸
最小	千代田区	1,308戸

資料) 東京都住宅政策本部

「事業概要 令和4年版」

【出所：データ版“区”資料編（令和5年度版区勢概要）】

(3) 道路・公園

①公道延長

最大	世田谷区	1,187,175m
7位	板橋区	740,190m
最小	千代田区	175,508m

②道路率

最大	中央区	29.8%
11位	板橋区	18.2%
最小	大田区	12.3%

資料) 東京都建設局道路管理部「東京都道路現況調書 令和4年度」

③都市公園総数

最大	大田区	509
6位	板橋区	345
最小	千代田区	23

④区民1人あたりの都市公園面積

最大	江戸川区	5.32m ²
8位	板橋区	3.25m ²
最小	豊島区	0.70m ²

資料) 東京都建設局公園緑地部「公園調書(令和4年4月1日現在)」

【出所: データ版“区”資料編(令和5年度版区勢概要)】

(4) 保健

病院・一般診療所の病床数

最大	板橋区	9,798床
最小	台東区	1,162床

資料) 東京都福祉保健局「福祉・衛生統計年報(令和3年度)」

【出所: データ版“区”資料編(令和5年度版区勢概要)】

(5) 福祉

①生活保護の保護率

最大	台東区	37.1%
3位	板橋区	31.0%
最小	中央区	7.0%

②保育所施設総数

最大	世田谷区	214施設(定員18,277人)
9位	板橋区	141施設(定員12,593人)
最小	千代田区	24施設(定員1,917人)

資料) 東京都福祉保健局「福祉・衛生統計年報(令和3年度)」

注) % (パーミル): 1000分の1を1とする単位

③国民健康保険被保険者世帯数

最大	世田谷区	131,727世帯
7位	板橋区	85,695世帯
最小	千代田区	7,898世帯

④介護保険1号被保険者数

最大	世田谷区	187,583人
6位	板橋区	132,454人
最小	千代田区	11,404人

資料) 東京都福祉保健局保健政策部
「令和2年度 国民健康保険事業状況」

資料) 特別区の統計 令和4年版

【出所: データ版“区”資料編(令和5年度版区勢概要)】

(6)環境

①ごみ種別収集・持込量

最大	世田谷区	177,850.41t
6位	板橋区	104,828.05t
最小	千代田区	15,489.27t

資料) 東京二十三区清掃一部事務組合
「清掃事業年報 令和3年度」

②リサイクル資源回収量

最大	世田谷区	48,954.034t
8位	板橋区	29,693.457t
最小	千代田区	5,693.341t

資料) 特別区清掃リサイクル主管課長会
リサイクル分科会・統計作業検討部会
「清掃事業年報別冊 令和3年度Ⅲリサイクル編」

【出所：データ版“区”資料編（令和5年度版区勢概要）】

(7)教育

①小学校数

最大	江戸川区	70校（児童数33,199人）
6位	板橋区	52校（児童数24,320人）
最小	千代田区	11校（児童数5,145人）

資料) 東京都総務局統計部「学校基本調査報告 令和4年度」

②中学校数

最大	世田谷区	50校（生徒数20,738人）
7位	板橋区	27校（生徒数11,605人）
最小	中央区	5校（生徒数2,155人）

③高等学校数

最大	世田谷区	36校（生徒数23,610人）
13位	板橋区	12校（生徒数10,154人）
最小	中央区	2校（生徒数1,242人）

資料) 東京都総務局統計部「学校基本調査報告 令和4年度」

④幼稚園数

最大	世田谷区	62園（園児数8,017人）
8位	板橋区	33園（園児数4,852人）
最小	千代田区	12園（園児数1,105人）

⑤図書館数

最大	世田谷区	24館
9位	板橋区	12館
最小	中央区	3館

資料) 特別区の統計 令和4年版

⑥図書館蔵書数

最大	杉並区	2,118,492冊
6位	板橋区	1,703,589冊
最小	千代田区	600,677冊

【出所：データ版“区”資料編（平成25年度版区勢概要）】